

鬼ヶ島コースと桃太郎冒険コース

◎ふたつのオリエンテーリング・コース

- 国立吉備青少年自然の家には、ふたつのオリエンテーリング・コースがあります。ひとつは、「鬼ヶ島コース」、もうひとつは「桃太郎冒険コース」です。鬼ヶ島コースには30個、桃太郎冒険コースには26個のポストが設置されています。
- 鬼ヶ島コースと桃太郎冒険コースの違いは、ポストの数や配置の仕方の違いです。競技方法については、どちらのコースを選んだ場合でも、スコアオリエンテーリング方式での実施も可能ですしポイントオリエンテーリング方式での実施も可能です。
- ふたつのコースを併用することも可能ですが、「桃太郎冒険コース」と「鬼ヶ島コース」ではポストが違いますので、混同しないように、デザインの違いを参加者によく周知しておく必要があります。

◎鬼ヶ島コース

- 30個のポストは、施設の主要な建物（管理棟・宿泊棟・生活関連棟など）に比較的近い場所に配置されています。必然的にポストとポストの間隔は小さく、スピーディーな展開を期待できます。ブッシュ（バイクや車で入れない茂みの中）に設置されたポストもあり、冒険的な要素も十分備えています。
- ポストの記号は、1～30の数字で示してあります。通過確認のための記号は、カタカナです。ポストのデザインは、白／赤の塗り分けになっています。
- 鬼ヶ島コースの場合、参加者の活動範囲が狭くなるので、指導者・引率者の監視の負担は小さくて済みます。参加者の活動を活性化するためには、時間を短めに区切るとか目標得点を自分たちで高めに決めさせるなど、アップテンポな展開になるような工夫をすると効果的です。道路の大部分は公道ですので、一般車の通行もあります。交通事故に遭ったり事故を誘発したりしないよう、十分気を付けさせてください。

◎桃太郎冒険コース

- 26個のポストは、施設から比較的遠いところまで大きく分散しています。必然的にポストとポストの間隔は大きく、参加者に大きな体力的負荷をかけることを期待できます。冒険的な魅力にあふれていることはもちろん、社会科で習った等高線や縮尺の意味を、肌で感じながら確認していくことが可能なコースでもあります。
- ポストの記号は、A～Zのアルファベットで示してあります。通過確認のための記号は、ひらがなです。ポストのデザインは、白／明るいオレンジになっています。
- 活動範囲が広がる桃太郎冒険コースでは、監視計画にも十分な配慮を要します。とくに、ダムより下流側（鳴滝森林公園付近）まで車で行くには吉備新線道路を大きく迂回して行く必要があります。ゆとりある活動計画にしてください。ゆったりと自然を満喫できるコースではありますが、参加者にとっても監視者にとっても、蚊その他の虫や有害植物へのより慎重な配慮が欠かせません。

ポストは、独自に設置することも可能です。地権者、施設管理者や他の利用団体が誤って撤去してしまうことを避けるためには、表示物等に必ず団体名などを明記して下さい。
活動終了後の片付けも、確実に実行して下さい。